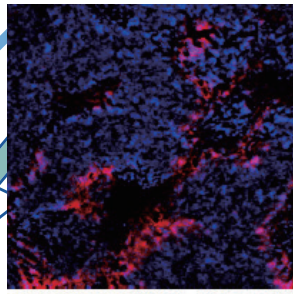
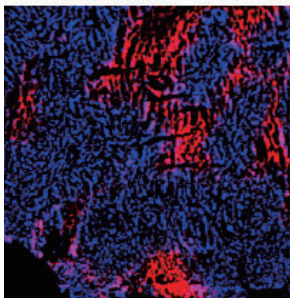




研究室に足を運び、研究に挑戦すると、
一つひとつ小さなことにも感動を味わう
貴重な体験になった。

実験をすると予想を裏切る結果が
出てきて、それについて議論し
考えることが楽しかった！

京都大学 生命科学研究科

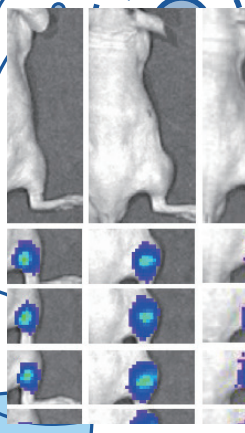
SUMMER SCHOOL 2025

9/1 → 9/19

MONDAY　FRIDAY

次も参加したいという意欲が生まれ、
研究者になろうという意欲が改めて
実感できた。

参加研究室での活動や
報告会などを通じて、
他学部の学生とも
知り合いになることができた。



学部から提供される講義よりも
もっと研究活動の現実に近いと
ころに触れられた！

教員や院生の方々が
優しく指導して下さり、
充実した日々でした。

夏休みに生命科学研究科で「研究の魅力」を体感してみませんか？

研究経験がなくても心配無用！

あなたの興味ある研究室で一人ひとりに合った

活動内容を配属研究室とフレキシブルに決めることができます！

✎ 配属先は志望動機等を総合的に考慮して決定いたします

✔事前登録制

研究科ホームページ内からの事前申込

応募締切日

2025
7/11 (FRI)

応募方法の詳細はQR コードに
アクセスしてください

京都大学 生命科学研究科

SUMMER SCHOOL 2025

参加研究室紹介

SUMMER SCHOOL 2025 での活動内容（予定）

※受入予定人数

東樹 宏和 教授

生態進化学

活動時間：応相談

3名※

「次世代シーケンサー」を使った生物サンプルや環境サンプルの分析を行います。生態学・進化学を学びつつ、DNA情報から生命現象を読み解くバイオインフォマティクスを体験できます。

野田 岳志 教授

微細構造ウイルス学

活動時間：平日 10 時～ 17 時（応相談）

2名まで※

私たちはウイルスの増殖機構の解明と、その知見を基にした治療薬の開発に取り組んでいます。本実習ではインフルエンザウイルスをモデルに、ウイルスを自分の手で人工合成し、さまざまな電子顕微鏡技術を駆使してその構造を解析します。この実習を通じてウイルスの基礎を学び、最先端のウイルス研究に触れてみませんか？

中台（鹿毛）枝里子 教授

老化感染制御学

活動時間：応相談

1-2名※

線虫C. エレガンスを代替モデルとして、老化や感染、ヒト常在細菌と宿主の相互作用のメカニズムなどを学ぶことができます。ぜひ一緒に研究を体験してみませんか？

小幡 史明 准教授

分子病態学 小幡研究室

活動時間：10 時～ 17 時をベースに応相談

1-2名※

ショウジョウバエを利用し、ミネラルやビタミン、アミノ酸などの栄養素に対する生体応答を研究しています。完全合成餌を利用した栄養操作、代謝分析、遺伝子発現・摂食行動・ストレス耐性解析などを学んで頂けます。

井垣 達吏 教授

システム機能学

活動時間：10 時～ 17 時の間（応相談）

1-2名※

ショウジョウバエをモデル生物として用い、未知の細胞間コミュニケーション（細胞競合と呼ばれる現象）に関する基礎研究の一端に携わっていただきます。モザイク解析、免疫組織染色、顕微鏡観察、画像解析などを行い、実験結果についてディスカッションして解釈・考察を行います。

小田 裕香子 教授

高次生体統御学

活動時間：9 時 ~18 時の間で応相談

2-3名※

細胞間接着の制御による多細胞生物の構築・維持・修復機構に関して、培養細胞やマウス組織を用い、染色、顕微鏡観察、画像解析などの実験を実際に行います。得られた結果について一緒にディスカッションすることで研究を体験していただきます。

CARLTON, Peter 准教授

染色体継承機能学

活動時間：応相談

4名まで※

モデル生物線虫を用いて、精子と卵子を生み出す減数分裂を制御する分子メカニズムについて、一緒に考え、実験を学び、研究発表します。免疫染色と高解像度顕微鏡を用いたイメージングとその画像解析技術を学び、精巧で美しい細胞の世界を覗いてみませんか？

本研究室では英語が公用語ですが、実験指導は日本語で行います。国内留学の環境と、日本語での技術指導の両方を体験できます。

岩田 想 教授

生体制御学

活動時間：応相談

1-2名※

タンパク質の発現と精製。

今吉 格 教授

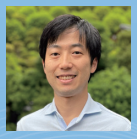
脳機能発達再生制御学

活動時間：応相談

数名※

脳神経系の発生や回路研究に必要な実験を体験して頂きます。

1. 神経幹細胞の培養と、ニューロンやグリア細胞への分化誘導実験。
2. マウス成体脳組織の解析。脳サンプリング、切片作製、抗体染色、蛍光顕微鏡撮影など。
3. 恐怖条件付け課題、もしくは、空間記憶学習課題など、マウスの認知機能評価のための行動実験やデータ解析。



安原 崇哲 教授

ゲノム損傷応答学

活動時間：応相談

1-2名※

細胞が種々のストレスに対してどのように応答し、恒常性を保っているのかを分子レベルで明らかにします。分子生物学、細胞生物学の基本的な手法によって、実際にどのようにして実験を進めていくのかを体験できます。

朝長 啓造 教授

生体動態制御学

活動時間：応相談

1-2名※

ヒトや動物に感染するRNA ウイルスを中心に複製機構や病原性の解析を行っています。また、ウイルスの人工組換え技術を利用した遺伝子細胞治療用の新規ウイルスベクターの開発研究を進めています。Summer Schoolでは、培養細胞や分子生物学的手法を用いたウイルス研究の基礎を学んでもらいます。

安達 泰治 教授

生体適応力学

活動時間：応相談

1-2名※

機械的な「力」に対する組織・細胞・分子の振る舞いに着目して、研究テーマを進めてもらいます。実際の実験・ディスカッション・研究プレゼンなど、研究活動を一通り体験してもらえます。特に力学・物理学の観点から生命現象にアプローチしたい方は、ぜひご参加を！

野々村 恵子 教授

メカノセンシング生理学

活動時間：応相談

1-3名※

機械受容(メカノセンシング)を担う感覚神経を可視化する技術を用い、マウスの皮膚や肺などの内蔵に対し顕微鏡観察を行います。得られた結果について考察やディスカッションなどを行い、研究を体験していただきます。